



2025
議会だより

よしか

第74号

令和7年4月25日



You Can do it !!

- | | | | |
|--------------|-----|-----------------|-------|
| ▶第1回定例会・主な事業 | 2～3 | ▶一般質問 | 10～13 |
| ▶主な質疑 | 4～5 | ▶発委・発議 | 13 |
| ▶臨時会・全員協議会 | 5～6 | ▶議会報告会・現地調査 | 14 |
| ▶議会へのご意見 | 7～8 | ▶議員定数及び議員報酬について | 15 |
| ▶議案の議決結果表 | 9 | ▶研修・音訳の会・編集後記 | 16 |

第1回 定例会

〈令和7年3月7日～3月21日の15日間〉

令和7年度一般会計当初予算（昨年比 16.1%増）
90億3,287万3千円 【可決】

〈令和7年度当初予算の特徴〉

一般会計は、昨年に比べ16.1%増の90億3,287万円と、2005年の合併以来最大となった。災害復旧費として、平田頭首工災害復旧工事に2億2,500万円、町道馬橋線馬橋撤去工事に3,346万円を計上した。その他、柳原団地、白谷団地の公営住宅の建て替え、改修などに1億8,537万円、自治体システムの標準化などに3億3,953万円を充てる。

また、アンテナショップの売り上げ増加や道の駅の充実を図るため、運営事業者に集落支援員を配置する費用に1,500万円を計上した。

歳入は、町税が5億2,080万円、地方交付税が39億5,460万円を見込む。

町債は10億7,520万円、財政調整基金などを9億9,461万円取り崩す。



平田頭首工



馬橋

特別職（町長、副町長、教育長）の給与減額案否決

特別職3名の給与を、1年間月額5～10%減額する条例案を否決した。否決を受けて再度提案された、町長の任期の10月29日までとする修正された案も否決した。当初案では、減額分を「よしか病院」の建て替え財源に充てる約230万円と見込んでいた。

討論では、「町全体の財政の仕組みを見直すべき」、「町長選前のパフォーマンスと言われるのでは」などの意見が出た。採決では、いずれも賛成5票、反対6票の賛成少数だった。

主 な 事 業



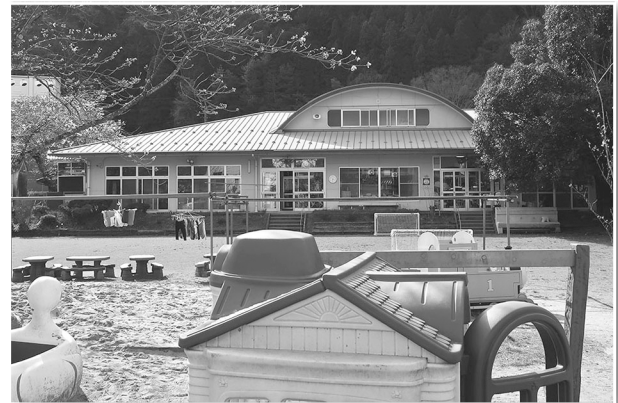
庁舎非常用発電機更新工事費
4,053 万円



野中集会所エアコン更新工事費
165 万円



ぎんなん寮キュービクル式
受電設備増設工事費
2,119 万円



3歳以上児主食費補助金
※主食費(有機米)の公費負担化
105 万円



改修工事費
(蔵木小体育館トイレ洋式化等)
194 万円



改修工事費
町民六日市・柿木体育館
739 万円

否決

吉賀町長等の給与の特例に関する条例

〔内容〕

町長の給与10%、副町長・教育長の給与5%、年間でおおよそ230万円を減額するというもの。

《理由》

コロナ禍と物価高騰に苦しむ住民への配慮と、地域医療継続のため、財源を基金に積立てる。

庭田議員

給与の減額という短絡的な手法ではなく、金を生む大胆な投資と、無駄を省く行政の抜本的な見直しを優先すべきである。

〔町長〕

住民の苦しい生活に寄り添うという思いも理解してほしい。行財政改革はこれからもしっかり進めていく。

反対討論

藤升議員

令和8年度は今年度より予算の編成が厳しいという説明があった。今年度の予算の組み方が正しかったのかを考える必要がある。

また、2年続けて同様の条例を提出するのなら特別職報酬等審議会にも諮問すべきである。

河村(隆)議員

給与の減額などは世の中の流れに逆行している。減額するくらいならそもそも給与を下げればよい。まずは「よしか病院」の規模や財源、時期を町民に示し、行財政改革を進めるべきである。

◇賛成少数で否決

再び・・・

賛成少数で否決されたため、減額の期限を任期令和7年10月29日）までとして追加議案が上程されました。

◇賛成少数で否決

臨時会

〔2月13日〕

請負契約の変更



入札減等の差額発生で施工距離を210m延長する舗装工事です。

変更額 2192万円
有限会社 宗正建設

令和6年度一般会計補正予算

主な質疑

桑原議員

老人福祉センターは老朽化により休館が続いている。思い切った改修や修理を検討すべきである。

〔企画課長〕

計画を立てて進めていくと考える。



老人福祉センターはとの湯荘
修繕費214万円

3月定例会 主な質疑 Q&A



旧領家旅館（エムテラス）

31万9千円

- ・土地建物の購入を目的とした調査

河村（由）議員

Q. 利用目的も曖昧なままに不動産の取得など軽々に進めるべきではない。

【町 長】

A. 調査を進めながら慎重に対応していく。

大庭議員

Q. ただ古いだけの建物を買って、町の負債を増やすようなことをするべきではない。

【企画課長】

A. 景観の保全として活用していくこともひとつの策であると考えます。



風力発電環境保全推進協議会

37万9千円

- ・協議会の議論をもとに町民の安全や環境を守るための条例の制定へ

庭田議員

Q. J パワーが計画している事業が長い間放置されている。事業の撤退に繋がる条例を早急に制定すべきである。

【税務住民課長】

A. 素案を審議会に諮り、6月議会に提案できるよう進めている。



林業振興費

1億8734万7千円

- ・専門的人材の採用や航空レーザー測量などによる総合的な林業政策の構築

藤 升 議員

Q. 航空レーザー測量と地籍調査との関係をどのように整理されているか。

【産業課長補佐】

A. 航空レーザー測量でできるのは境界調査である。それをもとに国土法に基づいた地籍調査を2段階で進める。



学校給食調理場

整備基本構想策定業務

481万5千円

- ・安心、安全な食を提供するために課題を解決するための委託料

桜下議員

Q. センター化を視野に入れての委員会設置なのか。

【教育次長】

A. 今ある3つの調理場の方向性を示す委員会になるので、センター化も議論することになる。

全員協議会

▶水道料金・下水道使用料の審議会答申及び料金改定について

令和9年度より老朽化対策をより推進し、水道管更新に伴う工事費の捻出、下水道の事業運営状況等について審議会を行い、料金の検証・見直しを審議。

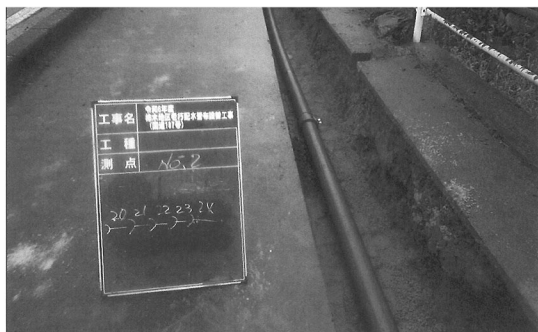
- 【答 申】 料金を令和9年度より30%アップ
【理 由】 水道管更新による工事費捻出のため
【新料金】 基本料金1,000円(税抜)
 プラス従量料金1m³ 120円
 5年ごとの見直しを行います。

桜下議員

30%の根拠は何か。

【建設水道課主幹】

審議会で行った財政シミュレーションの結果である。



水道管敷設工事

▶「よしか病院」及び「よしか介護医療院」の状況等について

- 【外来患者数】 77人 (計画 80人)
【一般病床】 50床 月70.1%
【介護病床】 53床 月72.5%
【職 員 数】 112人 (開設時 105人)
【事業損益】 当初予算の170万円減

三浦議員

毎月2,000万円前後の赤字は町の収支計画とは違う。これで経営は大丈夫なのか。

【医療対策課長】

交付税1億2,000万円と、残りは基準内での繰り出しができる計画内である。
医療収入だけで黒字には絶対にならないことはご理解いただきたい。



病院見学会

▶物価高騰対応重点支援交付金

物価高騰の影響を受けた生産者や事業者へ支援。

吉賀町では福祉や産業など4つの分野に配分されます。



いただきます

▶地域農業維持発展支援事業費

地域農業を担う農業者を支援する事業で、地域農業支援枠・有機農業支援枠を設け、農業機械・施設の導入に要する経費の支援。



農作業始動

議会についてのご意見をお聞かせください

吉賀町議会では、議会活性化のため、具体的な取り組みを進めています。

つきましては、住民の皆様から議会についてのご意見や提言をお寄せいただきたいと思います。

ご住所やお名前を記入された方には、回答させていただきます。

なお、議会・町政に関しないものやひぼう中傷等には回答いたしませんので、ご了承下さい。

切り取り

折ってください

のりしろ

料金受取人払

益田郵便局承認

527

差出有効期間

2026年2月

28日まで

〔切手不要〕

折ってください

698-8790

吉賀町六日市七五〇

吉賀町役場 議会事務局 行

ご意見等ある方は、
裏面にご記入の上、
外枠にそって切り
取り封書にして投
函してください。

のりしろ

切り取り

折ってください

- ◇議会・町政以外のことについてのご意見等はご遠慮ください。
- ◇ご住所、お名前の記載がない場合は、回答はいたしません。
- ◇いただいたご意見等を、匿名で「議会だより」や町のホームページに掲載することがあります。
- ◇簡潔な内容をお願いします。

切り取り

(個人情報保護により、記載されたご住所、お名前等は他の目的には使用しません。)

件 名

切り取り

『議決結果表』

【全員賛成で可決した議案】

(議長は、可否同数の場合を除き採決に加わらない)

	議案番号	件名
臨時 第1 回 会	議案第1号	請負契約変更（令和6年度林道滑峠線舗装改良工事）
	議案第2号	令和6年度一般会計補正予算（第8号）
第 1 回 定 例 会	議案第3号	令和6年度病院事業会計補正予算（第1号）
	議案第4号	令和6年度後期高齢者医療保険事業特別会計補正予算（第3号）
	議案第5号	令和6年度一般会計補正予算（第9号）
	議案第6号 ～第8号、第37号	請負契約変更（令和5年度町道栃木線栃木橋補修工事） ほか3件
	議案第9号	広島市との連携中枢都市圏形成に係る連携協約の締結に関する協議
	議案第12号	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定
	議案第13号	学校給食調理場整備基本構想策定委員会設置条例の制定
	議案第14号	議会議員及び吉賀町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正
	議案第15号	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部改正
	議案第16号～第20号	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正 ほか4件
	議案第21号	職員等の旅費に関する条例の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例の制定
	議案第23号	特定優良賃貸住宅条例の一部改正
	議案第24号	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
	議案第25号	放課後児童クラブ条例の一部改正
	議案第26号～第27号	非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正 ほか1件
	議案第28号～第29号	令和7年度水道事業会計予算 ほか1件
	議案第30号	令和7年度病院事業会計予算
	議案第31号～第35号	令和7年度興学資金基金特別会計予算 ほか4件
	発委第1号	議会会議規則の一部を改正する規則
	発委第2号	議会委員会条例の一部を改正
	発委第3号	議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正

【賛成多数で可決した議案】

○：賛成 ●：反対

	議案番号	件名	桜下	村上	三浦	桑原	河村 (由)	松蔭	河村 (隆)	大庭	藤升	中田	庭田
第1 回 定 例 会	議案第11号	病院施設等整備基金条例の制定	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○
	議案第22号	定住促進住宅条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○
	議案第36号	令和7年度一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○

【賛成少数で否決した議案】

○：賛成 ●：反対

	議案番号	件名	桜下	村上	三浦	桑原	河村 (由)	松蔭	河村 (隆)	大庭	藤升	中田	庭田
第1 回 定 例 会	議案第10号	町長等の給与の特例に関する条例の制定	○	○	○	○	○	●	●	●	●	●	●
	議案第38号 (追加議案)	町長等の給与の特例に関する条例の制定	○	●	○	○	○	●	●	●	●	○	●
	発議第1号	消費税率5%への引下げ、インボイス制度廃止を求める意見書（案）	●	●	●	●	●	●	●	○	○	●	●

自主財源確保に取り組むこと



村上 定陽

質問

『まちの駅』構想の一環として『旧六日市学園』の2階部分を33室の宿泊施設にする提案を受けている。

また、補正予算において『旧領家旅館』の一部を改修した『エムテラス』の運営権を2200万円余りで買うことが決定されたが、今後この両施設をどのように運営していくのか。

令和7年度一般会計予算においては、ふるさと納税の目標額を1300万円から1500万円に引き上げているが、返礼品等経費の上昇よりも大幅に低い目標額に設定している。新病院建設を急ぐ為にも早急に「自由に使える自主財源確保」

を進める必要があると考える。

関係者と協議し慎重に取り組む

町長

『まちの駅』に関して、経済的な効果を試算するすべを今は持ち合わせていないが、機能に応じて不動産賃借料や施設利用料を想定している。

『エムテラス』について、事業の運営は町が主体となっていく。経済的な側面だけではなく価値を高めていくことが必要と考え、事業計画から実施に至るまで民間事業者との連携で、地域と滞在者の交流を軸に事業を展開していきたい。

官民連携の推進を



庭田 英明

質問

地域再生推進法人「高津川てらす」の活動は住民と共に進められている。しかし行政の動きは見えてこない。「まちの駅構想」の実現や施設の活用のために、行政は官民連携に本気で取り組むべきである。

食べることは生きる

教育長

食えるものの質は「命の教育」そのものである。子どもたちの命に直結する安全な食を提供することは、「オーガニックビレッジ宣言」をしている町だからできる特色ある教育活動だと考えている。

町長

2年間の取り組みや、反省を踏まえて職員の配置など、次のフェーズに進んでいく。

オーガニック給食の完全化を

質問

オーガニック給食は子ども、若者の健康だけに限らず、教育を中心に多様な要素を持った、町づくり

完全化を目指して

町長

全ての給食がオーガニックで提供できるように協議体の組織化や、調理員の配置などに取り組んでいく。

森林の利活用



松 蔭 茂

質問

樹木は建設、家具、生活用品、燃料、薬、また花木は観賞用に使われている。最近では樹木の新たな用途も研究され、生活が豊かになり経済的発展も期待される。

樹木の伐採、撤去、加工、販売、さらに植林等のシステムはどのように考えているか。

林業事業体の設立

町長

樹木を伐採、加工、販売等のシステムは、令和7年度から株式会社トビムシとの共同出資により、新たな林業事業体を設立して、遊休製材施設を有効活用し、木材生産から製材、加工までの6次産業化を実現する。

この事業体では、木材生産や、木材を製材加工し、建築資材としての販売・加工をして木工品などにする事で、付加価値を高めて販売する。

また、加工や建設資材などに利用できない部分を、薪などに加工し木質燃料として販売する事業などを中心に、幅広く実施する。

町内には森林が豊富にあり、資源を有効活用していくために、林業事業体で活用方法を確立し、資源を持続的に活用できる森林管理体制を構築する。



まちの駅構想の資金源は何か



藤 升 正 夫

質問

旧六日市学園施設の大規模な修繕や改修のための経費は、企業版ふるさと納税と民間資金を充てるというのがこれまでの議会での答弁だった。

まちの駅構想に基づく改修であっても、企業版ふるさと納税と民間資金とで実施する考えか。

てらすとは毎年の契約変更を承認

町長

吉賀町と高津川てらすの官民連携では、建物の管理や資金面で行政は十分な支援をすることができなかった。

官民連携は吉賀町の将来にとって必ず必要であると確信している。高津川てらすの、旧



質問

令和5年に「今後の農業経営意向に関する調査」を実施し、各農家に對して、農地一筆ごとに5～10年後、誰が耕作するか等を調査した。耕作者ごとに将来の「目標地図」を作成し、

将来の方針を今年度末までに公表するとなっている。進捗状況と、どのような問題点や課題が出たのか聞く。

課題山積

町長

地域計画は、公民館単位で作成し、3月末に公表する。

問題点と課題は担い手不足、水路の老朽化による水漏れ、鳥獣被害による生産量の低下などが多かった。

地域農業の将来は



中 田 元

質問

農地のインフラ整備を

質問

5～10年後も大切だが、ポンプ改修や水路、鳥獣被害など個人ではどうにもならない。不在地主などもあり、行政の力が必要である。

現在補助率は15%だが、免除または減免にすることはできないのか。

制度的に難しい

町長

農業水路などは、国や県に対して使い勝手の良い予算化を要望している。

建設水道課でも国や県の事業をもっており、町としては防災などの公益性がある場合は、減免、免除も検討していく。

当町の地方創生とは



河 村 由美子

質問

竹下内閣時代「ふるさと創生事業」以来、歴代の内閣において同様な政策を打ち出してきたが、十分な成果が残されたとは言えない。

この10年間、当町も毎年7億円以上の事業を総合戦略関連事業として政策を展開しているが、町の主体性の欠如、職員の考えの総括ができていない。

今後は地方完結型の医療と教育の整備、エ

ネルギーと主要食糧の地産地消、住民参加のソーシャルファーム等を実行すれば、この町のGDPは上がり活性化する。さらに独自性の高い政策を展開すれば、暮らしの基盤となる仕事ができ、地方創生政策が完結されていくと考える。

総合戦略を実施

町長

施政方針で

も述べているが、基本目標として、

1. 暮らしの基盤となる仕事をつくる担い手関連事業で、産業振興に1億9200万円

2. 定住対策に1億100万円

3. 結婚、出産、子育てに5300万円

4. 住みやすい町では、地域交通対策事業をはじめ、住民生活に関する21の事業に3億6900万円となる。

7年度総額7億1700万円の地方創生対策として、引き続き第2期の総合戦略の実現に努める。

町主催の講演会は



桜下 善博

質問

2月2日に
基幹集落セン

ターで、農薬の人体に与える影響、危険性についての講演会があった。農薬は脳神経系の機能発達に影響を与え、約40名が受講した。一方で、農薬はJA、ホームセンター、通販等で市販されている。町は「オーガニック・ビレッジ宣言」をし、地域ぐるみで環境への負荷を抑えた農業の実現を目指している。取り組みは理解できるが、農薬は市販されている。影響を考えれば、講演会を町が主催するべきではないと思う。



協議した

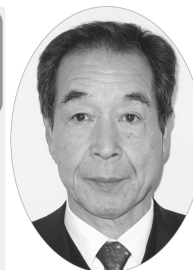
町長

講演会を開催するに当たり、各方面に参加の働きかけを行い、学校の保護者やJAしまね六日市支店にもお願いに行った。JAとも情報交換しており、有機農業の推進については重点実施事項に掲げているので問題ないと考えている。

今後、JAや関係機関と協議しながら、引き続き環境への負荷を抑えた農業の実現を目指したい。

農薬の使用の選択肢は農家にあり、幅広く情報を提供する必要から、吉賀町が主催者となつて企画したものである。

住民の安心安全は



桑原 三平

質問

令和7年2月26日午後発

生した岩手県大船渡市の大規模山林火災は、市面積の9%にあたる約2900ヘクタールの焼失面積との報道である。

山林火災は初期消火が遅れると範囲が拡大し、被害が甚大となる恐れがある。当町の山林においても時々発生しているが、大規模となると広域消防職員や消防団員は経験も浅く対処しきれないのではないかと思う。火災についてどのような対応を考えているか。

防火の取り組みを強化

町長

火災は林野を問わず、初

動の対応が大変重要である。林野火災が発生

質問

住民はよし

か病院のあり方に不安がある。地域の魅力の一つは、そこに病院があり、安心して健康な生活が過ごせる事である。

病院・社会福祉協議会の今後について、町長の意見を求める。

医療・介護の現状は

町長

人口減少や

少子高齢化による医療需要の変化、医師の偏在化など医療従事者の地域間格差が生じている。

中山間地の自治体では、都市部の総合病院と同等規模の診療機能確保する事は極めて困難な状況にある。

新病院建設については、建設時期の延期と施設規模の再検討を行

医療の充実と介護は



大庭 澄人

う方針を出した。

救急医療体制は、夜間の時間帯について、救急患者の受け入れを行っている。夜間医療を行った場合、日中の外来診療ができなくなり、病院の診療体制に影響が出てくる。

社会福祉協議会については、今後の高齢者人口や要介護者数の推移を正確に予測する必要がある。

現在、在宅サービスの利用者数は大幅に減少しており、数年前の予測との違いも生じている。このまま人材確保が厳しい状況が続けば、縮小を余儀なくされる。



バス停の改修を



河村 隆行

質問

「道の駅か
きのきむら」

を、バス・車・人が集まる駅にする。そうすれば、トイレ・待合室・駐車場もあり、食事もできる。柿木地区には、食料品や日用品を販売する店がないため、駅内でこれらを扱えば便利になる。

また、柿木温泉口のバス停は、危険なバス停である。集落センターに入り、回って国道に出て行くように、この交差点一帯の改良を県に要望すれば、「はとの湯」の利用者も便利になる。早急に改良したらと考える。



検討する

町長

この2件について、担当の企画課も、関係者と協議、検討したいと考えている。

木々を大切に

質問

よしか病院駐車場内の桜の木、松の木などが伐採されると聞いた。公園樹・街路樹など、それぞれ特性に合った樹木が植栽されている。しっかりと調査して対応すべきである。

対応する

町長

病院ということで、癒しとなる部分もあるため精査し、全伐については考慮する。

物価高騰対策は



三浦 浩明

質問

物価高騰により、町民や各事業所にも悪影響が出ている。町民は食品・日用品・水道光熱費等の身近な面で節約を強いられている。農業・建設業・製造業などの事業所においても経営を圧迫している。

今後も高騰が続くと思われるが、今以上の対策が必要ではないか。また、当町は水道料金の3割値上げも計画しているが、一度に値上げすれば町民や事業所にも悪影響の懸念がある。

町として今後の支援や配慮が必要ではないか。原材料の高騰や円安による輸入コストの増加は、暮らしや経営に多大な影響を与えていることは認識している。今年度も物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金や島根県の物価高騰対策支援金を活用して支援する。

現状では、国の交付金等を活用するしかないが、引き続き国への要望活動を行っていく。水道料金の値上げについては、インフラ事故を防ぐためにも老朽化対策の工事を今以上に進める必要がある。料金改定を後ろに伸ばすことは町民のインフラへの不安を増大させる懸念もあり、徐々に料金の値上げをするのは非常に難しい。

発 委

※委員会が提出した議案

【発委第1号】

吉賀町議会議規則の一部改正

提出者 議会運営委員会

委員長 桑原 三平

「内容」議会手続きのオンライン化に対応し、現在の社会情勢に即した内容にする。

◇全員賛成により可決

【発委第2号】

吉賀町議会委員会条例の一部改正

提出者 議会運営委員会

委員長 桑原 三平

「内容」議会手続きのオンライン化に対応した改正と、委員選任に関する規定の見直しを行う。

◇全員賛成により可決

【発委第3号】

吉賀町議会の個人情報の保護に関する

条例の一部改正

提出者 議会運営委員会

委員長 桑原 三平

「内容」マイナンバー法等の施行に伴う必要な改正と、現在の社会情勢に即した見直しを行う。

◇全員賛成により可決

発 議

※議員が提出した議案

【発議第1号】

消費税率5%への引下げ、インボイス制度廃止を求める意見書(案)

提出者 藤升 正夫

◇賛成少数により否決

議会報告会

1月25日～2月1日の間に町内5か所で行い、延べ64人の方にご参加いただきました。

今回は、昨年3月に示された「新病院建設計画」が12月定例会で見直しをされたこと、また、議会で議員定数と議員報酬について検討していることを踏まえ、この2点を中心にご意見を伺いました。

議員定数と議員報酬に関する議会改革など、皆さまの貴重なご意見を参考に、全員協議会で検討をさせていただきました。

また、よしか病院をはじめ町行政に関する要望などは、町長へ報告しました。



現地調査（3月4日）

久保田谷川排水路改良工事

大雨時に六日市地区で発生していた冠水の防止



町道栃木線栃木橋補修工事

完成間近の栃木橋を視察



議員定数並びに議員報酬に関する協議の結果について

議員定数 1 減案見送り 報酬 20%アップ案町長に要請

島根県及び全国町村議会議長会で「議員のなり手不足対策」として、議員報酬の適正化を図るよう決議されました。

吉賀町議会では、令和6年9月20日より5回の全員協議会を行いました。

11月18日（第2回）に一部の議員より「議題追加請求」として定数見直し案が提出され、11月20日の全員協議会より、議員定数1名減案と、議員報酬について協議しました。

この件については、本年1月25日より各地区で行った議会報告会でいただいた、皆さまのご意見を参考にし協議した結果、令和7年3月11日下表のとおり決議されました。

○：賛成 ●：反対

件名	桜下	村上	三浦	桑原	河村(由)	松蔭	河村(隆)	大庭	藤升	中田	庭田
議員定数 11 名に削減する改定案	●	○	○	○	●	●	○	○	●	●	●
議員報酬を 2 割増額する改定案	●	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○

令和7年3月24日に議長より、この決議が反映された『吉賀町議会議員の報酬改定についての要請書』が町長へ提出され、改選後の報酬改定に向けて特別職報酬等審議会にかけられます。

【資料】 県内町村の議員定数と議員報酬の状況

	吉賀町	津和野町	巴南町	川本町	美郷町	飯南町	奥出雲町	隠岐の島町	海士町	西ノ島町	知夫村	平均
有権者数	4,724	5,700	8,245	2,560	3,520	3,796	9,761	11,228	1,872	2,233	515	4,923
議員定数	12	12	12	9	12	10	12	14	10	10	8	11
議員 ¹ 人当たり	394	475	634	284	293	380	813	802	187	223	64	414
現在の報酬												
議長	288,500	280,000	304,000	304,000	293,300	298,000	283,000	297,000	247,000	249,000	241,000	
副議長	240,000	236,000	252,000	252,000	244,400	246,000	232,000	246,000	206,000	207,000	199,000	
委員長	213,500	207,000	217,000	216,000	209,600	215,000	205,000	215,000	171,000	173,000	167,000	
議員	203,500	197,000	210,000	210,000	204,700	205,000	195,000	205,000	171,000	173,000	167,000	
改定後報酬			決定	決定	決定	予定	決定	決定				
議長	要請中	検討中	337,000	337,000	30%Up	351,000	337,000	20%Up				
副議長			280,000	280,000		291,000	273,000					
委員長			241,000	241,000		252,000	255,000					
議員			233,000	233,000		242,000	248,000					
増額率												
議員	20%		11%	11%	30%	18%	27%	20%				

鹿足郡町村議会議員研修

2月18日、津和野町で令和6年度鹿足郡町村議会議員研修が行われました。

当日は、島根県町村議長会事務局長の清山英晴氏によるオンライン形式での講演が行われ、「議会運営、議員活動における事例」と題し、約15の事例を取り上げながら「議会・議員活動」の中で行うべき点や、間違いに陥りやすい点を詳しく説明いただきました。その後、多くの町村が抱えている議員定数についての意見も伺いました。

講演終了後は、両町での情報共有を図るため意見交換を行い、閉会しました。今回の研修は、今後の議会、議員活動に大変参考となる内容でした。



オンライン研修

「音訳の会」をご存知ですか

「音訳の会」は、視覚障がい等で文字を読むことができない方に、音声やCDに録音して届ける活動をボランティアでおこなっている団体で、「議会だより」もお世話になっています。

この活動は、平成20年にUターンされた方が、以前住んでおられた地域にあったのに吉賀町になかったことがきっかけで始められました。現在8名の方で議会だよりや町広報、社協だより、学校通信等の音訳や、要請があれば地域サロンなどで紙芝居をされることもあるそうです。



音訳の会の皆さん

代表者の大庭和子さんは、「どなたにも優しい町になるといいですね」と控えめに語られました。約10日間で各誌を音訳するご苦労を考えると、活動の偉大さに改めて頭が下がる思いです。

また、音訳サービスがあったらいいと思われている方に、活動の情報が届いてほしいとも言われました。

詳しい内容を聴きたい方は、社会福祉協議会へお問い合わせください。

編集後記

春の訪れを感じる季節となりました。

本号では、3月定例会の審議内容や決定事項を中心にお伝えしました。令和7年度予算の審議が行われました。

議会で交わされたさまざまな意見や提案が、今後の町政運営に生かされることを期待しています。

今号では議会報告会の様子や議員定数・報酬の協議結果など掲載しました。

皆さまの声を反映すべく更なる議会改革に努め、地域の発展と暮らしの向上に向けた議論を深めていきます。ぜひ、ご意見・ご感想をお寄せいただければ幸いです。

今後皆さまにより分かりやすく議会の様子をお届けできるよう工夫し、引き続き読みやすく、親しみやすい「議会だより」を目指してまいります。

村上 定陽

【今月の表紙】

柿木地区で縫製業を営む、有限会社ソーイングヨシモトで働く、外国人技能実習生の皆さんです。

撮影：川上泰博さん（美美工芸）

広報広聴常任委員会

委員長 村上 定陽 副委員長 三浦 浩明
委員 桜下 善博・河村 隆行・庭田 英明